

司法書士

難易度	最上級
最短学習期間	1年
中大生人気学部	法学部

? ? WORK CONTENTS

司法書士の業務は、登記業務・成年後見業務・相談業務・訴訟業務などがあります。その中で最もウエイトが高いのは登記業務です。登記とは、誰がその土地の所有者かといった不動産の権利関係や、その会社の代表取締役は誰かといった企業の重要事項などを登記簿に掲載し、広く一般の人々に知らせる制度です。その登記手続は複雑な上、非常に重要なものなので、プロである司法書士が登記手続を行います。登記手続で報酬を得ることを法律で認められているのは、司法書士と弁護士ですが、実際にはそのほとんどを司法書士が担っています。

2003年4月から簡易裁判所での裁判については、司法書士も弁護士と同じように法廷に立つことができる訴訟代理権が与えられ活躍の場がますます広がりました。

活躍のフィールド・就職先

独立開業・
一般企業の法務部など

筆記試験

筆記試験には多肢択一式試験と記述式試験があり1日で行われます。
例年7月の第1日曜日(午前は第1次、午後は第2次試験)

午前の部
2時間

<多肢択一式 計35問>
民法(20問)、商法(9問)、刑法(3問)、憲法(3問)。

午後の部
3時間

<多肢択一式 計35問>
不動産登記法(16問)、商業登記法(8問)、民事訴訟法・民事執行法・民事保全法、(3科目で7問)、供託法(3問)、司法書士法(1問)
<記述式各1問 計2問>
不動産登記法、商業登記法 ※記述とは、登記申請書の作成をいう。

口述試験

●試験時期/例年10月上旬～

- 試験科目/筆記試験の科目の他、司法書士業務を行うのに必要な一般常識について問われる。
- 試験方式/2人の試験官が1人の受験生に口頭で解答を求める。(1人約15分)

受験資格に制限はありません

試験データ
平成29年度

受験者数(A)	15,440名
合格者(B)	629名
合格率(B/A)	4.1%
男女別構成	男76.2% 女23.8%

問い合わせ先

法務省

TEL 03-3580-4111(代表)
URL:<http://www.moj.go.jp>

試験ガイド

ココで合格!

生協取扱
スクール一覧

スクール	伊藤塾	LEC東京リーガルマインド	資格の学校TAC/Wセミナー	辰巳法律研究所	クエアール
司法書士	通学/通信	通学/通信	通学/通信	通学/通信	通信